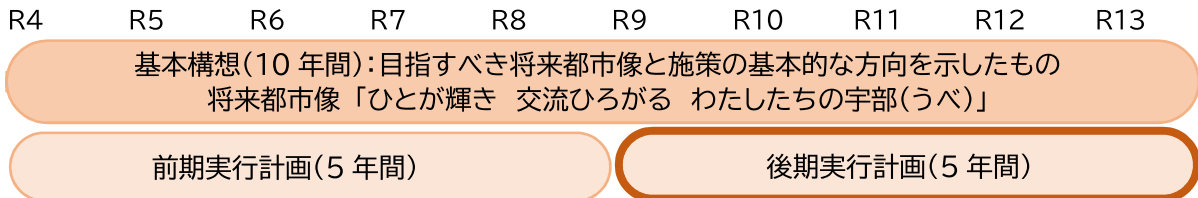


第五次宇部市総合計画 後期実行計画の策定について

1 計画の位置づけ

● 第五次宇部市総合計画（R4～R13 年度）

市の最上位計画であり、将来都市像の実現に向け、中長期視点で本市が進むべき方向性を示した、まちづくりの指針。「基本構想」と「実行計画」から成る。



● 第2期宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(R2～R8 年度)
人口減少の克服・地方創生を目的とする



2 策定趣旨

- 人口減少・少子高齢化が進展する中、将来にわたって安心して暮らせ、持続的発展を遂げる魅力ある地域社会を築いていくことが重要である。
- このため、より一貫性のある効果的な計画運営を行っていくため、「後期実行計画」と「次期総合戦略」を一体的に策定する。
- 複雑性が増し、将来の予測が困難な時代において、状況に応じて適宜軌道修正を図ることができる柔軟性・機動性を持った、「市民の幸せにつながる」計画とする。
- 本市の現状や課題、まちづくりの方向性を市民と共有することで、共創によるまちづくりを推進する。

3 策定スケジュール

